

研究課題 学校関係者評価委員が評価活動に参画する手だてを試し、その評価結果を学校改善に生かす取組に係る実践研究

地域と共にある学校づくりを目指した学校評価

札幌市立陵北中学校

I はじめに

学校改善、保護者・地域から信頼される学校づくりにつながる学校評価



1 本校における学校評価のねらい

本校は、昨年度開校50周年を迎えたが、その事業を通し、ここまで地域と共に歩んできた歴史の重みと学校に対する地域からの期待の大きさを改めて感じるようになった。

地域から信頼される学校を目指し、次のことをねらいとして学校評価を行っている。第一は、実践を振り返り、その成果と課題を明らかにし、保護者や地域に対して説明責任を果たすことである。第二は、PDCAサイクルを機能させ、学校改善に活かすことである。第三は、学校関係者評価を通して、学校運営に対してアドバイスや応援をいただきながら地域との関わりを広げていくことである。

2 昨年度の学校評価の結果をもとにした改善点

本校では、昨年度の学校評価をもとに検討した結果、次の3点について改善を図ることとした。

- ① 保護者、地域の方に学校をより理解してもらうために分かりやすい広報の工夫を行う。
- ② 学校と地域のつながりを更に深める。
- ③ 中学校区内の3つの小学校との連携を更に進める。

II 本校の学校関係者評価

バランスのとれた学校関係者評価委員

1 これまでの取組から見えてきたこと

本校では、学校関係者評価は平成21年度から行っており今年度で3年目となる。学校関係者評価委員の方は5名おり

- ・本校1期生の交通指導員
- ・元保護者の健全育成委員
- ・元PTA会長の会社経営者
- ・本校卒業生であり元PTA会長の大学教授
- ・地域住民の大学教授

とバランスのとれた委員構成となっている。学校関係者評価によって、自己評価の客観性と透明性を高めることはもちろんであるが、関係者評価委員会には学校と家庭・地域を結びつける機能がある。関係者評価委員会にアドバイスや実際の橋渡し役をしていただきながら、学校改善や地域との連携を深めていくことが大切である。



学校関係者評価委員会

学校関係者評価委員の持ち味を生かしながら

2 学校関係者評価委員会の円滑な運営に向けて

関係者評価委員会を一層充実させるため、今年度途中から本校のPTA会長に評価委員に加わっていただいた。関係者評価委員に保護者を加えることで、保護者の意見などを吸い上げやすくするとともに評価委員会の取組を保護者に広めることになると考えたからである。

また、評価委員の方には、行事などによく足を運んでくれる方、専門知識や高い見識で自己評価の分析や学校経営に対するアドバイスをいただける方などそれぞれもち味がある。ひとりが全てのことを完璧に行うのではなく、それぞれのもち味をいかしていただければ、負担があまりかからずいいのではないかと考えている。ただ、学校としては、積極的に評価活動に参画していただくために、来校機会や情報提供の回数を増やす工夫をしていかなければならない。

Ⅲ 学校評価の一年間の流れ

	自己評価				学校関係者評価
	学校（教職員）	生徒	保護者	地域	学校関係者評価委員会等
4 5	教育課程委員会 ・1年の流れ確認	学校だより 学級指導	学校だより 学年PTA	学校だより	入学式参観 第1回学校関係者評価委員会 ・経営方針等の説明
6	教育課程委員会 ・中間アンケート準備				
7	中間アンケート実施	教育懇談会	教育懇談会		
8	教育課程委員会 ・中間アンケートの集計、分析				
9		学校だより	学校だより	学校だより	学校祭参観
10	教育課程委員会 ・学校評価アンケート準備				第2回学校関係者評価委員会 ・合唱コンクール参観 ・中間アンケート結果報告、交流
11	学校評価アンケート実施				
12		教育懇談会	教育懇談会		
1	教育課程委員会 ・学校アンケートの集計、分析				自己評価書及び資料の送付 ※委員長による分析
2 3	教育課程委員会 ・自己評価書	学校だより	学校だより	学校だより	第3回学校関係者評価委員会 ・自己評価の評価及び改善策の検証 卒業式参観

IV 自己評価と学校関係者評価の方法

数値化により妥当性
をもたせた自己評価

1 自己評価

(1) 自己評価資料としての学校評価アンケート

本校では、保護者・生徒・教師に対して中間・年度末の2回のアンケートを実施している。アンケートは4段階評価としている。このアンケート結果を点数化し、この数値を基に自己評価を行っている。

① 評価領域と評価項目

自己評価は5つの評価領域（学校教育目標と教育課程、学習指導、生徒指導、進路指導、保護者や地域との連携）とし、各領域に2～6の評価項目を設定している。

② 質問項目の分類

アンケートの質問項目を自己評価の項目のどこにあてはまるかを検討し分類していく。

③ 数値化から自己評価

自己評価の各項目に割り振ったアンケートの質問項目について、生徒・保護者・教師の平均値を出し、その値から自己評価の評価を決定する。数値化することでその妥当性を説明しやすくなったと言える。

(2) 課題に対する改善策

各項目ごとに反省を行い、見えてきた課題については改善策を考え、次年度に活かしていく。

2 学校関係者評価

(1) 学校関係者評価の原案づくり

完成した自己評価は、根拠となった資料とともに各学校関係者評価委員の方に事前にお配りし、見ていただいている。そして、委員長には、資料を分析していただき、自己評価と課題に対する改善策の妥当性についての学校関係者評価の原案を作りをお願いしている。その原案をもとに評価委員会の中で検討し、学校関係者評価としている。

(2) 学校関係者評価の結果から、学校運営の工夫・改善へつなげる方法

自己評価での課題に対する改善点に具体性に欠ける場合などは、具体案を示すことを求められた。具体的な対策を考えることで学校改善のスピードを速めている。また、学校の取組をこれまで以上に多く発信すべきであるとアドバイスされ、工夫していくことになった。更に、地域とのつながりをもっともつべきであると助言を受けた。地域での活動が広がれば、学校に対する理解が進み、地域とともにある学校としての機能をより果たして行くことになるはずである。そして、具体的な橋渡しなども行っていただいた。

3 公表の方法

本校では、評価結果の公表を「学校だより」と「学校ホームページ」を利用して保護者や地域に行っている。更に年度末の3月には、「学校説明会」を開催し、次年度の学校経営方針や教育課程における変更点などを中心に1・2年の保護者に対して説明を行っている。

学校関係者評価が学
校・家庭・地域を結
ぶ

V 学校関係者評価を通して広がった地域とのつながり

地域と共にある学校

1 コミュニケーション・ツールとして

本校では、学校経営の目玉として、学校関係者評価委員会からの助言もあり、「地域、保護者から信頼される学校」を目指し、地域や関係機関との連携を進めていくこととした。特に、まちづくりセンターには、町内会との仲介役となっていたり、生徒会活動と地域とを結びつけていただくなど、力をお借りした。また、小学校との連携も具体的に進み、中学校区の繋がりが深まった。学校関係者評価が学校・家庭・地域を結ぶ「コミュニケーション・ツール」となっていると云える。

2 地域・関係機関との連携の具体例

① 「清掃ボランティア」

総合的な学習の一環として、町内会の方と連携し、校区内の公園のゴミ拾いを行った。



清掃ボランティア

② 「中学生のまちづくり入門講座」

まちづくりセンターに主催していただき、町内会の役員の方々と中学生が町内会の役割や中学生に期待することなどを交流し、中学生が地域へ愛着をもつためのよい機会となった。



まちづくり入門講座

③ 「パソコン教室」

まちづくりセンターと共催で本校のコンピュータ部が、地域の希望者にカレンダー作りを通してパソコン操作を教えた。



パソコン教室

④ 「東日本大震災チャリティーイベント」

関係者評価委員が橋渡し役となり、桑園地区のイベントに吹奏楽部が出演し演奏した。

⑤ 「部活動見学会・体験授業」

本校に入学予定の小学6年生を対象に、希望をとり部活動見学・体験会を開いた。また、対象者全員に対して、中学校で本校教師による体験授業も行った。隣接中学校との日程調整も行うなど、小中連携が深まり中学校区のつながりや信頼が生まれつつある。

多くの発信が安心・信頼・協力へ

3 多くの発信から信頼へ

学校の取組は、できるだけ多くの発信を心掛けた。これも学校関係者評価委員会からの助言を受けたもので、学校だよりの回数を増やしたり、一般紙、地域の広報誌、西区役所ホームページなどを利用した。地域の学校理解はもちろんであるが、保護者が学校の取組を知ることによって安心感が生まれ、そのことが信頼・協力へとつながっていくと考えている。

VI 成果と課題

学校関係者評価を通して、課題について具体的な改善策を検討し、次年度の学校経営の改善につなげることができた。教職員も共通理解をもちながらの課題改善に取り組むことができたと言える。さらに、学校関係者評価を学校・家庭・地域を結ぶ有効なコミュニケーション・ツールとして、今後も活用していきたい。また、この学校関係者評価が形骸化しないように、学校関係者評価委員の要望などを取り入れながら常に工夫を重ねていきたいと考えている。

琴似二十四軒まちづくりセンター 「中学生のまちづくり入門講座」

中学生のまちづくりへの関心、地域への愛着を深めることを目的として「中学生のまちづくり入門講座（まちづくりデビューに向けて）」「地域の方々との交流会」を開催しました。

陵北中学校の生徒 15 人、連合町内会関係者 10 人が参加し、「まちづくり」についての講義、まちづくりセンター業務の紹介、生徒会のボランティア活動の紹介、町内会等の地域の活動の紹介、活動のやりがいの話、地域の中学生に期待することの話がありました。

これをきっかけに生徒会のボランティア活動（ペットボトルのふた回収など）を琴似二十四軒地区にて広報し、地域の協力を呼びかけたり、福祉のまち推進センター主催「キッズカーニバル」に生徒がボランティアスタッフとして参加するなど、学校と地域との連携、生徒のまちづくり活動への参加へつなげました。



日時：平成 22 年 7 月 22 日
場所：陵北中学校
参加人数：25 名

～生徒の感想から～

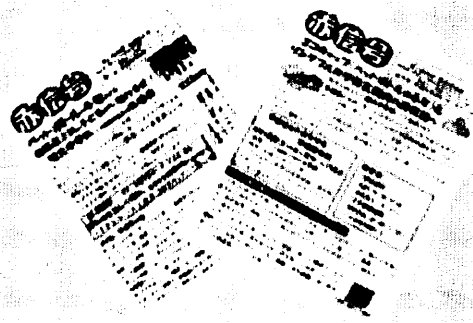
「地域ではどのような取り組みをしているのか、まちづくりセンターはどのような所かがよく分かりました。今回の講座、交流会で改めて人は一人では生活していない、誰かに支えられているのだと思いました。これからはもっと積極的に地域の取り組みに参加していきたいと思います。貴重な体験ありがとうございました！」

中学生のまちづくり活動への参加



↑「キッズカーニバル」では、ボランティアスタッフとしてさまざまなゲームの進行や紙芝居の読み聞かせなどを行いました。

生徒会のボランティア活動への協力呼びかけ



↑地域で発行されている壁新聞「赤信号」に陵北中生徒会のボランティア活動が掲載されました。

《お問い合わせ》 月曜日～金曜日(年末年始、祝祭日を除く) 8:45～17:15
琴似二十四軒まちづくりセンター(西区琴似2条7丁目1-10)
電話 621-2508 / FAX 618-0081

資料2 学校だよりの一部

平成23年度実施 学校評価中間アンケート 保護者 対象集計結果		保護者評価点		
	質問項目	23年度中間評価点	22年度年間評価点	22年度中間評価点
1	学校の方針や目指す方向がわかりやすく説明されている。	4.0	3.9	4.0
2	年間行事予定や日課等は適当である。	4.1	4.2	4.2
3	始業式、入学式は適切に行なわれている。	4.7	4.6	4.7
4	野外学習、宿泊学習、修学旅行は適切に行なわれている。	4.5	4.5	4.5
5	家庭訪問、教育懇談会は適切に行なわれている。	4.4	4.4	4.4
6	授業参観、学校公開日は適切に行われている。	4.2	4.0	4.2
7	わかりやすい授業が行われている。	3.6	3.6	3.8
8	生徒は、授業に意欲的に参加している。	3.7	3.6	3.7
9	評価基準や評価方法などの説明は適切である。	3.7	3.6	3.7
10	総合的な学習の時間の内容は適切である。	3.8	3.7	3.8
11	進路について適切な指導がなされている。	3.5	3.5	3.4
12	進路に関する資料や情報の提供がされ、進路選択に活かされている。	3.2	3.2	3.2
13	子どもに、家庭学習の習慣が身につくように学校は働きかけている。	3.2	3.1	3.2
14	陵北中学校は、明るく落ち着いた雰囲気がある。	4.1	4.0	4.1
15	生徒は安心して生活している。	4.1	4.0	4.2
16	基本的な生活習慣の指導は適切になされている。	4.1	4.0	4.1
17	きまりやマナーを守るなどの基本的な生活習慣が身についている。	4.0	3.9	4.0
18	生徒に、命の大切さや思いやりをはぐくむような指導がなされている。	3.7	3.8	3.8
19	生徒一人ひとりの理解に努め、個に応じた指導がなされている。	3.5	3.6	3.7
20	家庭と学校は、情報を交流し、連携して子どもの育成を行っている。	3.6	3.7	3.8
21	地域や関係機関と連携を図りながら非行防止などに努めている。	3.8	3.8	3.8
22	学校は、地域や保護者の声に誠実に対応している。	3.7	3.8	3.8
23	近隣の小学校や中学校、高等学校との連携が図られている。	3.7	3.7	3.6

平成23年度実施 学校評価アンケート 生徒 対象集計結果		生徒評価点		
	質問項目	23年度中間評価点	22年度年間評価点	22年度中間評価点
1	生徒は始業式、入学式にしっかり参加している。	4.7	4.6	4.7
2	生徒は野外学習、宿泊学習、修学旅行に積極的に参加している。	4.8	4.7	4.7
3	生徒は認証式、生徒総会などにしっかり参加している。	4.4	4.6	4.4
4	生徒は授業に意欲的に参加している。	3.9	4.2	4.0
5	授業はわかりやすく行われている。	4.2	4.2	4.2
6	評価基準や評価方法などの説明はきちんとされている。	4.7	4.5	4.6
7	総合的な学習の時間では、充実した活動が行われている。	4.3	4.3	4.3
8	朝総合の読書は有意義である。	4.7	4.6	4.6
9	進路に関する説明や資料、情報の提供があり、進路を考えることに活かされている。	4.2	4.2	4.0
10	家庭学習の習慣が身についている。	3.0	3.0	3.1
11	学校は、明るく落ち着いた雰囲気がある。	4.2	3.8	4.0
12	学校では、安心して生活できる。	4.2	4.1	4.2
13	学校では、生徒に基本的な生活習慣を身につけさせる指導がされている。	4.3	4.2	4.2
14	生徒は、きまりやマナーを守るなどの基本的な生活習慣が身についている。	4.0	3.6	3.8
15	生徒は、命の大切さを考え、思いやりの心をもつように努めている。	4.1	4.0	4.0
16	生徒は、学校の施設や設備を大切に、きれいに使っている。	4.2	4.0	3.8
17	先生方は、生徒の気持ちをよく理解しながら適切に対応してくれている。	4.0	4.2	4.0

※評価点は、A：そう思う→5点 B：まあまあ思う→4点 C：あまり思わない→2点 D：そう思わない→1点として平均を出したものです。3点が中央値となります。